

多数アンカー式補強土壁工法

Vol.04

# 施工事例集

岩スリ





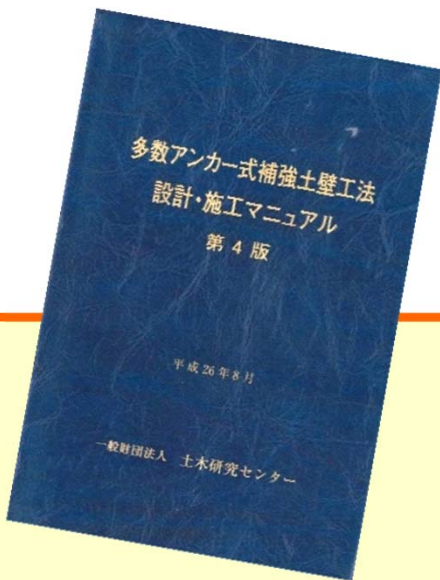
## 工法比較の一例

東京単価による

盛土定数	岩ズリ					
	$\gamma = 20 \text{ kN/m}^3$ $\phi = 35^\circ$ $c = 0 \text{ kN/m}^2$					
項目	多数アンカー式補強土壁工法			他の補強土壁工法		
概要図						
経済性	工種	数量	単位	工種	数量	単位
	・ 多数アンカー工			・ 補強土壁工		
	・ 笠石・防護柵基礎工	1.00	m	・ 笠石・防護柵基礎工	1.00	m
	・ 基礎工	1.00	m	・ 基礎工	1.00	m
	・ 土工			・ 土工		
	壁裏碎石	6.38	m <sup>3</sup>	壁裏碎石	6.37	m <sup>3</sup>
	埋め戻し工	33.82	m <sup>3</sup>	購入土(再生砂) <sup>※1</sup>	21.94	m <sup>3</sup>
	補強土盛土工	93.83	m <sup>3</sup>	埋め戻し工	30.41	m <sup>3</sup>
直工費比較			1.00	直工費比較		
				1.08		

※1:補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル第4回改訂版に準拠し、岩ズリの不陸調整のため、ストリップの上下10cmにサンドイッチ工法を採用。

他工法では本体以外の部分で  
**別途費用が発生!**



多数アンカー式補強土壁工法  
設計・施工マニュアル第4版 p.92 平成26年8月  
〈(一財)土木研究センター〉

粒径	250mm超	150mm以上	75μm以下	細粒分が適当に混合した 粒度で締固め易いもの
重量比	0%	25%以下	35%以下	

### 施工時の管理方法

- 1案: サンプルングした試料で**粒度試験**を実施し、粒径と重量比を管理。
- 2案: 破砕機等を用いて岩ズリを**150mm以下に破砕**することで管理。